



19970627  
[9702]  
総42号  
発行  
桂坂  
自治連合会  
広報編集部

# 安全対策学習会 開催 地域ぐるみで子どもを守ろう

桂坂小学校PTA会長  
片山 健次

平素は、桂坂小学校PTA活動にご協力、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。さて、神戸市の通り魔事件を発端に、奈良県月ヶ瀬村での中学二年生の行方不明、そして神戸市須磨区の児童殺害事件と、児童・生徒に対する凶悪で、しかも残忍な犯罪が連続して発生しています。

人の尊い命を奪う行為は断じて許せません。また、児童に対する暴力行為、痴漢行為やいたずらは、児童の心に大きな傷として消えがたいものとなります。そして周囲の児童の心にも恐怖心など大きな影響を与えます。

そんな中、この桂坂学区におきましても、見のがすことのできない、児童に対する不審車輛の尾行行為や痴漢行為などの事件が、数件、保護者より学校に報告されています。

また、当学区内は、建設途中でもあり、通学路に数百メートル以上にわたる家のない所もあり、子どもたちが常に不安と危険にさらされているのが現状であります。

児童の健全育成およびすこやかな成長を願って活動しているPTAといたしましては、何よりも事件の起る前に有効な安全対策を講ずることこそが大切と受けとめ、桂坂生活安全課と協議し、さる六月七日、児童八七五名と保護者一〇〇名余り、および自治連合会の会長・役員の皆様にもご出席いただき防犯安全対策学習会を開催いたしました。

桂署生活課の署員による手作りの紙芝居を用いながら、「どうして自分たちの身を守るのがいいのか」を熱心に説明していただき、子どもたちと、「五つの約束」(別掲)をされました。

私たちが防犯対策を！  
去る六月七日「防犯安全対策学習会」が桂坂小学校で開かれました。PTA会長の片山さんから一文が寄せられています。地域ぐるみで「子どもを守る」ことを考えていかなければなりません。

同じ七日に、神戸の笹山市長が「生活用品店や理髪店などを混在させ、昼間でもだれかが街を見ているような新しい街づくりを」と提言したことを先日、新聞が伝えていました。住宅街として良好で、「静かな環境」を願うことと、「生活用品店や理髪店などを混在させ」た「街づくり」を進めたいとするこの間には私たちの意識の面でもかなりの隔たりがあるかも知れませんが、昼間の事件なのに「目撃情報」が少ないのは「ニュータウンの死角」だとの認識からです。一考の余地ある提言でしょう。

「子どもが助けをもとめて叫んでもその甲斐がないようでは駄目で、『地域ぐるみで話をし、子どもさんを守ってほしい』——これは当日の、警察の強い要望でした。

今後、私たち保護者と学校とが常に緊密に協力して児童が安心して登下校できるように、また、より安心して遊ぶように地域の方々に協力をお願いし、安全な地域環境を作るため行動をして参りたいと考えています。

皆様の深いご理解とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

五つのやくそく

- ① 知らない人にはついて行きません。
- ② だれかにつれて行かれそうになったら「たすけて」と大声で助けをよびます。
- ③ 一人では遊びません。
- ④ 友だちがだれかにつれて行かれそうになったら、大声で助けをよびます。
- ⑤ 遊びに行く時は、「どこ」「だれ」と遊ぶが、家の人に言うてから出かけます。

連絡するところ  
いちばんはやい 110番  
桂警察署 391-2291  
洛西交番 332-0055  
大枝交番 331-2896  
桂坂小 333-1101

安心して子育てできる「桂坂」にふさわしい保育所・児童館を  
牧野 美佐子  
ワークシヨップ——専門家や男性も交えての子育て井戸端会議、盛り上がりました。

「子育て失敗歴十数年、保育所、児童館、実はお世話になったことがない、保育所の保護者の方とは、一世代、あるいはもう少し違う私のようなもの、構わないうのかしら」と不安に思いつつ参加しました。

まず、ビデオで保育の現状を拝見しました。その後、五つのグループに分かれて話し合ったので

ですが、その中におられる保育の専門家から、保育所は両親とも就労の幼児を終日保育するだけでなく、一時保育、つまりパート勤務のために週のうち数日、またお葬式などの際に臨時に一日だけといった形の保育も可能であるとか、園児の保護者以外でも育児相談を受けられるとか、意外に開かれたスペースなのだと言っていました。

桂坂の子どもたちは、塾やお稽古ごとなどに忙しい仲間づくりが上手にできていないと思う。「子育ての遊びのリーダーとして活躍してくれたい」と聞き、私も徐々に身近なことに思えてきて、意見を出すと日頃子育てについて抱いている想いが出されました。

桂坂の子どもたちがのびと育ち、私たち親が安心して子育てできるように支援してもらえ、桂坂に新設の保育所と児童館が、住民の声を多く反映したものであることを夢見て、あと三回開かれるワークシヨップにも参加させていただこうと思えます。

桂坂の子どもたちがのびと育ち、私たち親が安心して子育てできるように支援してもらえ、桂坂に新設の保育所と児童館が、住民の声を多く反映したものであることを夢見て、あと三回開かれるワークシヨップにも参加させていただこうと思えます。

桂坂の子どもたちがのびと育ち、私たち親が安心して子育てできるように支援してもらえ、桂坂に新設の保育所と児童館が、住民の声を多く反映したものであることを夢見て、あと三回開かれるワークシヨップにも参加させていただこうと思えます。

## みんなで交流し 子育ての現状を確認しよう

「桂坂」の保育所・児童館の計画は、みんなの知恵を出しあって

「ワークシヨップ」方式  
話し合いが進められました。話し合われ、「桂坂」にこのテーマの文言から対する参加者の「思い」が先ず集約されたようです。

このワークシヨップ方式は、「みんなが話合えるように、このワークシヨップは、話し合っ

このワークシヨップ方式は、話し合っ

## 出店計画情報

イズミヤ桂坂店  
イズミヤの話では、計画は順調に進んでいるとのこと

現在の状況をお知らせしておきます。

Ⅰ：「大店法」による届出の件は目下、府の処理件数が多いこともあって、六月下旬に府の商工労働部に申請することになっているそうです。

Ⅱ：また、周辺の交通環境調査を専門の業者にすでに委託、八月下旬にはその結果が判明するので、ロータリを含む交通問題に関する対処の仕方を京都府警に提出する予定

# 親子自転車教室 自転車の正しい乗り方を

—皆さんご一緒に—

日時 七月 五日(土)  
午後二時〜四時  
(受付 一時三〇分  
〜三時三〇分)  
場所 桂坂小学校運動場

お父さん、お母さん、自転車の正しい乗り方を存知でしょうか。  
当日は、桂署から巡視員さんが見えて指導してくださいませ。子どもさんと一緒に自転車の乗り方を学んでみられてはいかがですか。



■当日は自転車に乗って来てください。  
■雨の場合は、講堂でアニメ映画やクイズをします。  
■子どもさんには、参加賞を用意しています。

桂坂交通安全推進会  
同 婦人部

# 「委員研修会」の講演を聞いて

少年輔導委員会  
桂坂支部長 前田 富造

聞くところによると、少年の輔導件数は、全国的に減少しているものの少年の人口が減っているため、人口比でいえば、増加傾向にあるそうです。特に薬物汚染(シンナー・覚醒剤など)の広がりについては驚かされました。覚醒剤も簡単に手に入るようです。子どもたちをとりまく環境は、決してよいものではありません。高校生に対する薬物乱用の防止活



# 「防災研修」体験記 Ⅱ いざというときに備えて



を持つこと、そして私達の町や身の安全は私達で守るといふ、備えと心構えを意識的に持つようにしたいと思います。

吉田美和子

備えあれば憂い無し  
去る五月十一日、京都市防災センターへ防災体験に若い人達と参加しました。立派な近代的建物には、各部屋に地震、風煙、火災等の体験設備がありました。消火訓練では、指導者より消火器の取扱方法について説明をうけた上で、数人が消火器の映像に向かつて消火器を操作して消火する体験です。一秒を争う的確な動作は鎮火を成功させる確率が高く、なかには不

高めましょう  
山手環部  
松本正二

## 防災への関心

成功の実演者もあって、初期の行動の重大さを痛感しました。各コーナーで体験した各個人が、万一の災害に対しても本日の体験を良き教訓として活かし、何より一人一人が敏速で正確に対応できる様、常日頃の準備が必要で、多くの方がこの体験をさげ、そうして「憂い」のないようにしましょう。

防災センターでの体験はまだ私の記憶に新しい、二年前の阪神淡路大震災の経験を思い起こすと、桂坂でも、各自自治会館に居る主婦やお年寄りの方々も防災について関心を持ち、道具の使い方等、知っておきたいものです。さらに機会があれば、訓練にも積極的に参加し、親睦の輪を広げ、助け合おう心

中川良子

## 文化



### 日文研學術講演会

日時 七月三日(木)

場所 日文研ホール

電話 335512016

Fax 335512091

Email infosec@ichidun.ac.jp

受講料は後日、郵送。

Ⅰ 徳川家康と京都

Ⅱ 「カエサル」の租税法文化

石井 紫郎 日文研教授

桂坂山の手俱樂部

一 笹筆画展

7月の催し

訂正とお詫び

四一号の「初心者向き囲碁入門講座」のうち、「日時」の項に誤りがありました。正しくは、

初回は 七月一四日(月)  
次回より 月の第一月曜日  
八月四日(月)〜  
一〇年三月二日

でした。訂正してお詫びいたします。

西京学区民対抗  
ソフトボール大会

# 桂坂チーム (一般の部) 優勝!

## 京都市の大会(岩倉グランド)に出場

西京学区民ソフトボール大会は、五月十八日(日)・二十五日(日)の二日間にわたり大原野の光華グランドで、壮年の部と一般の部が開催され、桂坂は一般の部に出場した。十八日の一回戦では、竹の里と対戦した。五点を先取されながら逆転してコールドゲームで勝ち、二十五日に駒を進めた。準々決勝は、榎原と対戦して圧勝。引き続きの準決勝では、川岡東と対戦して辛勝し、昨年と同様、決勝へ進出した。決勝の相手は、昨年と同じ松陽であり、昨年の雪辱をと全選手に気迫が感じられた。長打は少なかつたもののランナーをためては短打でこつこつと加点し、十二対五で圧勝した。昨年、決勝で涙をのんだだけに嬉しさが一入心に込み上

桂坂体育振興会

六月十五日・二十二日  
七月六日・十三日・  
二十七日  
午前八時三十分より  
十一時三十分まで  
場所 桂坂小学校運動場

桂坂体育振興会

新たな会員を迎え、地域女性会として二年目をスタートしております。女性が男性と共に社会参加できる二十一世紀を目指して、次の世代に引き継いで行くために学び、また、社会に貢献できる活動をして行こうと思っております。まず、最初のスタートとしては、「地域に根差す活動」ということで、桂坂内での支援参加、および女性学習会を予定しています。また、今年で京都市地域女性会が五〇周年となり、弱輩ですが、一支部でもありますので、各行政区の諸先輩の皆様に教を請いながら、昨年以上に積極的に京都市や西京区の行事の支

岡 本多美子